

競技注意事項

1. 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、学童である年齢段階を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 表彰式は各決勝種目終了後行うので、A決勝に出場した者は、競技終了後本部席前に集合する。(1~8位)
3. アスリートビブス(ナンバーカード)は大会当日選手1名につき2枚配布する。アスリートビブス(ナンバーカード)は支給されたままの大きさとユニフォームの胸と背につけ、腰や腹の部分にはりつけることは許されない。(100m、80mH、リレーの第4走者は、招集所で渡された腰ナンバーカードを右腰につける。)
4. 競技についての注意
 - a 同一人は1種目のみ出場できる。
 - b 混成リレーオーダーは男子2名、女子2名で走順は自由。リレーオーダー用紙は受付時に渡し、11時40分までに受付本部に提出すること(招集完了1時間前)。友好男女100m出場選手の登録もリレーのオーダー用紙に記載すること。
 - c 招集時間は競技日程(招集開始時間・招集終了時間)に示された通りとする。招集時間に遅れた場合、出場できないことがあるので注意すること。
 - ・決められた時刻に、招集場において本人が最終点呼を受ける。(完了時刻は競技日程のとおり)
 - ・選手招集場は、100mスタート付近競技場入口ヘtentを設ける。(場所の確認を必ずしておくこと。)
 - ・招集場へは、そのまま競技に出られる服装で集合すること。
 - d 80mハードルの高さは70cmで9台とする。スタートから第1ハードルまでの距離は13m、ハードル間は7mとする。
 - e コンバインドA:走高跳
 - ・走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。
 - ・走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。本大会は開始を90cm、その後115cmまでは5cm刻みで上げ、115cmから3cm刻みで上げていく。
 - f コンバインドBの走幅跳・ジャベリックボール投げは1人2回の試技を行う。走幅跳2ピット(A・B)で行う。ジャベリックボール投げはやり投げ用ピットを用い、助走は15m以内とする。
 - ・ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする *羽だけを持って投げることは禁止する。
 - g スパイクシューズは使用してもよい。(ピンは9mm以下)
 - h 素足での競技は禁止する。(夏季でのオールウェザー走路では火傷の危険がある。)
 - i スタートはクラウチング・スタートを原則とするが、スタンディング・スタートも認める。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。コールはイングリッシュコールでスタートする。「On Your Marks」→「Set」→号砲
 - j テイクオーバーゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイクオーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 - k 各走者とも走り終わってから他の競技者の邪魔にならないために自分のレーン内にとどまって、全競技者が通るまでトラックの外へ出るようにする。
 - l 傷害事故の発生については応急処置のみ大会本部で行うが、以後の責任は負わない。
 - m 競技については大会総務へ問い合わせる。
 - n 貴重品の管理は、各チームで行う。
 - o 男女100m(5.6年)は予選1位~8位の8人でのA決勝・予選9位~16位の8人でのB決勝を行う。混成リレーは予選上位1位~8位の8チームの決勝を行う。

5. コンバインド競技

①本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。

コンバインドA：80mハードル→走高跳

コンバインドB女子：走幅跳→ジャベリックボール投

コンバインドB男子：ジャベリックボール投→走幅跳

②各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2022年度改訂）』による。

※『JAAF 小学生混成競技得点表（2022年度改訂）』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開

③80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。

④100点以下の記録は、すべて100点とする。

⑤スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。

⑥スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。

⑦最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。

⑧2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。但し代表は1名なので抽選で決定する。

6. その他

<個人情報等の取り扱いについて>

①個人情報の取得と使用について

本大会主催者は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム返送及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

②映像・動画・画像の撮影と使用について

本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。